

大日靈貴の靈言（天照大神のルーツとその教え）（2018年1月2日靈示）担当：石田昭 2018年1月28日

1 総裁：天照信仰は天智帝の後、天武・持統帝の律令制政治期に確立。女帝の即位や孫の文武帝の継承を正当化。孫（瓊瓊杵尊）が継承した天照時代を二重写しで権威化を図る？

日本の歴史を短くしたい左翼歴史学者が「魏志倭人伝」の「卑弥呼」を天照として短縮化。

2 靈言：神武帝の頃には大日靈貴信仰はあった。エジプト文明の最盛期（5～6千年前）頃で、殷・周より前に生まれている。戦後自虐的で証拠主義だが、実は古い。鵲草葺不合王朝

3 一万年以上前からムーの子孫が伝えた未知の先史文明がある。今後何らかの発見がある。

4 中国や韓国はロシアや匈奴等の民族が中心、日本のルーツはムーで中華の属国ではない。

5 稲作はムーから伝わった。低地と高台を結ぶ昇降機。金も産出し、水より軽い金属の精錬技術。宇宙との交流や、アフリカ、中東辺りとも文化交流あり。青森の辺来村にイエス渡來說

6 20～30万年前に大陸と分離、3万年前には大八州の認識、日本人という意識があった。

7 当事、最高の巫女。神官能力：天上の神との対話、予知能力、天変地異を起こす能力、遠隔透視、他人の心を読む能力、呪い返しの秘法など。神官の力が評判で伊勢参りの現象。

8 御中主神は異星人のように、地球にいないときが多かった。靈視すると「天狗」のような「空を飛ぶ能力」あり。主宰神は大日靈貴で、天御祖神は認知すれど姿を見せずという存在、靈天上界・高天原の建設者、実体は不明。「ヒマラヤ聖者の生活探求」にも4千歳の美女の話。

9 大日靈貴は役職名、私は中興の祖。天照は皇室誕生の頃に出た。歴史家は簡単化する傾向があるが、西郷の東征は神武東征を実証したもの。歴史は繰り返す、沖縄出身神武桜子も同じか？

10 伊邪那岐命は大和朝廷誕生時のエクソシストの役割。平定作業で多くの敗者が怨霊になり、伊邪那美も“暗黒世界”へ行ったので切り離し、新たに天照を生んだ。天国と地獄、善と悪が戦う世界観では持たない、もっと明るい太陽信仰で国を纏めた。島根地方の敗者出身？

11 天津神系とは九州系、国津神系は本州大和系のこと。敗者は地獄と分類するのではなく、両者を融和させるのが天照の思想。唯一の太陽信仰の元で融和させた。和を以って尊しと為す。

12 八紘一宇は誤解されている。日本だけでなく四海同胞にも太陽の恵みは照らすとの意。

13 太陽は日本に属す、日本の管理責任という意識。日本から昇って、西に沈み、全世界を照らす。だから、日本を纏めながら世界にも責任を持とう、という気宇壮大な意識。台湾や朝鮮半島の経営を見れば植民地政策とは違うこと明瞭。台湾で一番尊敬される日本人土木技師八田興一の銅像あり。

14 政府はROから発信された思想を目安にし、国民に不問で国防を進めているのが現状。

15 韓国に「日本悪者」意識のトップが誕生し、アジアの安定にとって危険な状況。もう一度“天照大神精神”を発揮して世界を照らす意識を強く出す必要がある。韓国を4千年許そう。

16 日本は中国・南北朝鮮がある前から存在する国、ムー帝国の正当な嫡流。治める神も世界神から直接指導を受ける存在である。古代ユダヤ、ヨーロッパとの関連などの話はこれからいっぱい出てくる。自信を持って正しいことを主張するべし。壁は中華思想を信奉する民族であり、大陸地殻と海洋地殻は「水と油」の関係とし、「ムー大陸沈没」を認めないプレート信仰の現代地球物理学。

17 押し付け憲法を宗教のように信仰する勢力は引き取ってもらい、日本の伝統的な考え方を甦らせる時がきた。今年は転換点、おそらく大きな一年になる筈である。黄金期の前触れ？

18 神が指導する者に弓引く者には「呪い返し」が来る。やがて分かるが、改心しないと大変な事になる。平成が終わり、新時代がくるところ、発展への道か天下大乱か、分かれ道。

19 トランプのアメリカはトス神の指導でエルカンターレと繋がっている。日米関係を強化し、日米連合の繁栄が世界を導く時代が来る。ジンギスカンの一帯一路・欧州連合のAIIBは失敗？